

令和7年度英語教育に関する学校評価（児童・保護者・学校関係者）の結果

英語特例校として、5・6年生で年間80時間、1・2年生で年間10時間(3～6年生は、一部モジュール学習の時間を含む)取り組んできた英語教育に関する学校評価をまとめました。

【児童評価】

設問 「英語に興味があり、もっと英語を勉強したいと思いますか。」

	R7 2学期末	R7 1学期末	R6 2学期末	R6 1学期末	R5 2学期末	R5 1学期末
3～6年	67.6%	77.6%	73.9%	77.4%	72.8%	81.8%
1・2年	81.1%	86.9%	87.4%	80.9%	85.8%	90.3%
全校	72.2%	80.8%	78.0%	78.5%	77.2%	84.4%

※数値は、「そうである」、「どちらかといえばそうである」と回答した割合

【保護者評価】

設問 「子どもは、英語に興味を持ち、英語の時間を楽しみにしている。」

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
全保護者	62.7%	71.1%	66.3%	78.3%

※数値は、「よくあてはまる」、「少しあてはまる」と回答した割合

【学校関係者評価】

設問 「学校は、英語教育に特に力を入れ、児童・生徒のコミュニケーション能力の育成や国際理解教育の推進に積極的に取り組んでいる。」

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
学校関係者	3.8点	3.6点	3.5点	3.3点

※数値は、「よくできている」を4点、「できている」を3点、「あまりできていない」を2点、「できていない」を1点として計算した点数になります。

◇専科教員とALTによる歌やゲームを取り入れた楽しい授業を通して、英語や異文化に慣れ親しみ、「聞く」力がついてきていることが成果として挙げられます。本校学校運営協議会委員からは、学習参観等の機会を通して「英語教育については、自然にクラス全体が英語に溶け込み、英語のレベルが向上している。」とその取り組みについて評価していただいています。今後も市の方針を受け、英語教育に力を入れ、コミュニケーション能力の育成や国際理解教育の推進に取り組むことを通して、本校学校教育目標「心豊かに、しなやかに生きる子どもの育成」に努めていきます。